

2018年度広島大学平和センター特別講演会

「核兵器禁止条約の意義－これからのヒロシマ、そして日本の役割」

広島大学平和センターは、2018年8月6日、広島大学平和センター特別講演会「核兵器禁止条約の意義－これからのヒロシマ、そして日本の役割」を開催しました。

特別講演会は、2017年にノーベル平和賞を受賞した核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）の国際運営委員で、ピースボート共同代表の川崎哲氏が、核兵器禁止条約が採択されるまでの経緯や課題について講演され、質疑応答においても参加者からの鋭い質問により意義深い議論が行われました。

参加者からは「世界のリーダーたちとのやりとりの生の話を聞けて勉強になった」、「自分達が核兵器禁止条約について理解を深めることで、平和を希求する精神を世界に広げていきたい」などの感想が寄せられました。



講演をする川崎氏



質疑応答の様子

広島大学平和センターは、今後もシンポジウムの開催等を通じて、平和学に関する研究成果の還元、情報の提供を積極的に行い、広島から世界に平和を発信していきます。